

# 8月18日(土) 特別スポーツ走行について

- (1) 入園の際は、パス・通行証を提示し、第2ゲートから入園してください。17日(金)の入場はSSCM会員以外は入場料¥1,030がかかります。
- (2) スポーツ走行及び、特別スポーツ走行の受付は、公式通知No.1記載の時間より事務局窓口にて行いますので、下記の物を準備してください。尚、土曜日の特別スポーツ走行はレースにエントリーされている方優先のスポーツ走行となります。  
同一レース出場車両であればTカー(別途料金)として走行を認めます。その際、指定ゼッケン右上にTを付けて走行して下さい。  
走行に必要なSUGO施設利用料については、そのチームで走行予定のライダー人数×520円を最初に申請し、お支払いください。  
事務手続き終了後に不正が見つかった場合は、チーム・ライダーに対しペナルティーが科せられます。  
走行の際は参加受理書にて指定されたゼッケンを装着してください。  
走行申込用紙にご記入の上コントロールタワー窓口で走行券をご購入下さい 25分枠と50分枠の2種類ございますのでお気を付け下さい。

(3) エンジョイライセンス者及びSUGOの走行経験が無い方、今年レース初参加のライダーはビギナー講習会を受講する事。

(4) 走行及びコースインについて

5分前にはコースインゲート(PIT30脇通路)に集合し係員に走行券提示をしてください。

その後コースインの合図によりコースインして下さい。また、走行中のトラブルが生じた場合、速やかに安全な場所に待機してください。

(5) ピット及びパドックの使用について ※無料ピット利用チームの方は、土曜日の他のスポーツ走行者との共有使用にご協力下さい。

土曜日から耐久レース用割当ピットをお使い頂きますが、数チームによる混合利用となりますので、譲り合って使用してください。

パドック内の宿泊は可能とします。パドック泊可能日は、18日(土)の夜間です。

パドック泊を希望されます方は、夕方16:30分までにター1階事務局に備付の【宿泊者名簿】に必ず宿泊者全員のご署名を

お願いします。夜間宿泊記名者の、SUGO内外出入りは22:00までとなっております。それ以降は翌日のゲートオープン以降になります。

夜間パドック内の行動には各自責任を持つ事。事故やトラブルがあった場合にはパドック泊制度を中止いたします。(火気厳禁)

・入場前夜間車輛待機場所は、正面ゲート入口外側仙台方向手前のP4(Mパーク) 大駐車場をご利用下さい。

2018 SUGO ST150 6時間耐久レース  
2018 SUGO MINIBIKE 6時間耐久レース



## [ 公式通知 No.2 ]

2018年8月8日

### 1. 選手受付について

受付場所は、コントロールタワー1F大会事務局で受付を行う。

準備物 ①MFJ競技ライセンスもしくは、エンジョイ会員証(未取得者は事前入会のこと。) ②ピットクルーライセンス

③参加受理書 ④参加ライダー誓約書 ⑤車両仕様書 ⑥自動計測用発信機誓約書(要捺印) ⑦エントラントプロフィール

・注意! MFJエンジョイ会員証はスポーツ安全保険適用の都合上、当日入会が出来なくなりました。事前入会が絶対必要です。

### 2. 公式車検(前日予備車検)について

車検場にて、決められた時間内に車両及びライダー-装備、給油装置、消火器等の検査を受けること。

消火器に関して、内容量最低 1.8K以上の粉末A.B.Cタイプ同等以上の消火器を準備する事。レンタルは有りません。

また、初期消火に十分対応可能な物であれば可。(使用期限の有効な物)

※ピットガレージ備え付けの消火器を使用した場合は、1本につき15,000円を申し受けます。

前日に行われる予備車検は限られた人数で対応となります。順番待ちの人数を視ながら極力分散して受けて頂くようお願いいたします。

また、予備車検を受けた方は翌日の公式車検は免除となります。

### 3. 自動計測装置(トランスポンダ)の取り付けについて

参加受理書に同封された案内の通りリヤアームピボットシャフト付近に取り付ける事。取り付け位置がかけ離れている場合

レース中に関わらず取り付け位置変更をお願いする場合があります。

### 4. 公式予選・決勝進出

1) 予選は全ライダーが出走しなくても良い(リレークラスも含む)。時間内にライダーを交代する事は可。

出走車両は、コースインゲート(30番ピット脇)にて競技役員のスタート前チェックを受け、ピットロードで待機。

タイム計測結果は登録ライダーのベストラップ順位とする。

2) 複数組予選の場合で天候等の理由により、不均衡が生じた場合は、各組ごとの頭取りで決定する。

3) 大会特別救済ルールとして、予選不通過者はウェイトイングが認められる。(120台以上出走の場合)

ウェイトイングを希望するチームは、正式予選結果発表後30分以内に、大会事務局にてウェイトイング申請用紙にゼッケン番号を記入する事。(ウェイトイング申請は先着順とする。)

ウェイトイング申請者は決勝進出者の中からリタイア車が出た時点で、順次出走が認められる。

出走許可時刻は、ウェイトイング申請書に記載され、リタイア車が出た時点で申請チーム順に個別に記載される。

出走許可時刻の確認は、各チームにて行い、自車ゼッケンに対し、出走許可時刻が記載されている場合には、

その時点から、決勝レースに参加する事ができる。(確認場所は、コースインゲート)

レースに出走する場合は、必ずコースインゲートを通り、オフィシャルのチェックを受けた後、コースインする事。

### 5. ライダーズブリーフィングについて

- 1) ブリーフィングは、PITロード表彰台前にて行う。原則として全員参加。  
但し、車検を行っているチームは代表者が出席しチーム員に必ず内容を伝達する事。(絶対厳守事項)
- 2) タイムスケジュールに記載してある時間に必ず出席する事。**尚エンジョイ会員証で参加の方は絶対出席の事。**

## 6. スタート方法について

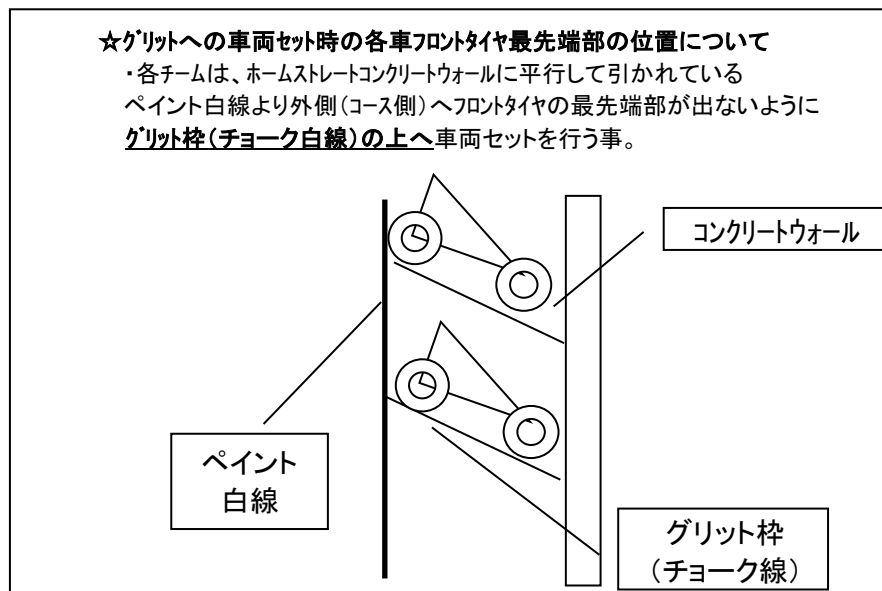
スタートはル・マン方式にて行う。スターティンググリッドは公式予選結果表に基づき決定する。  
但し、60台を超える場合は、スタッガード(分割)方式にて行う場合がある。その場合のスタートは、第1ウエイブ、第2ウエイブに分けて行われ、予選順位1番～中間位までを第1ウエイブとし、中間次位以降～最後尾を第2ウエイブとする。(参加台数により事務局調整)

## 7. スタートライダーと腕章着用の件 (腕章は受付時に配布)

- 1) スタートライダーは、チーム内の登録ライダーであれば、何れのライダーでも良い。申請の必要はない。
- 2) 全ライダーは予選・決勝共に左上腕部に腕章着用が義務づけられる。(腕章色はエントリー登録ライダー順)  
腕章を着けずにコースインした場合は黒旗にてピットインを命じる場合がある。

## 8. 決勝レースのスタート進行について (サイティング/ウォームアップラップは行わない)

- 9:25 30PIT脇コースインゲートにてスタート前チェックを受け、オフィシャルの誘導により順次手押しにて決められたグリッドに車両を移動する事。  
(図A参照)決められたグリッドに着いたら、エンジン始動の合図を待つ。  
グリッド上での給油作業(他の液体含む)は禁止。(スタート3分前までは調整程度の作業ができる。)
- 9:55 **決勝スタート5分前よりフラッグタワーにてカウントダウンが開始されます。**  
(スタート5分前までは手押しにて正規のグリッドに着くことができる。)
- 9:57 スタート3分前表示が出たら、スタートライダー・車両を支えるアシスト員・オフィシャルを除き全員退去すること。  
(これ以降グリッド上での作業はできない。作業を続ける場合はピットへ戻り、作業後ピットスタートとなる。)  
**※「スタート3分前」表示から、第2ウエイブスタート集団が100m看板を過ぎるまで、サインエリアは立ち入り禁止とする。**
- 9:59 スタート1分前表示の後カウントダウンが始まる。  
エンジン始動の合図により、エンジンを始動。スタートライダーはグリッド対面スタート位置(グリーン上)へ移動しスタートの合図待つ。  
車両を支えるアシスト員はエンジンが停止しない程度の暖機をしてスタートを待っても良い。  
※マシントラブルの場合はオフィシャルの指示に従い、車両をピットロード又は、ピットウォールに寄せその場で待機し全車両がスタートした後、スタートを試みることができる。
- 10:00 カウントダウン終了と同時にシグナルタワーの赤信号全てが消灯(ブラックアウト)でスタートとなる。  
スタッガード(分割)方式にて行う場合は、第1ウエイブのスタート後、フラッグタワーからの日章旗の合図でスタートとなる。  
日章旗は始め停止表示され、その後振り下ろされる。日章旗が動き始めた時をスタートとする。計測は第1ウエイブのスタートから、開始される。  
車両を支えるアシスト員は、担当車両がスタート後、すばやくウォールを乗り越えピット側へ退避すること。  
**※車両を支えるアシスト員とはスタートライダー以外の登録ライダー(補欠ライダーを含む)とする。この時、素肌を露出しない長袖長ズボンの着用を義務付ける。(革ツナギとヘルメットの着用が望ましい。)**  
またエアバック装着者の場合エアバック装置接続の補助員もアシスト員として認めます。  
**【図A】**



## 9. レース中断及び再開

- 1) レースが赤旗中断となった場合で、2)以外の場合、スタートグリッドは中断した2周前の順位とし、再度ルマンスタートとなる。
- 2) スタートから3周以内の赤旗中断の場合は、予選順位のグリッドとし、やり直しレースとなる。
- 3) レースが赤旗中断になった場合は、安全速度を保ち、各自ピットエリアに戻る事。この時、各種作業を行うことは認められる。
- 4) その他、2018 SUGOロードレース統一特別規則書による。

## 10. ジャンプスタートについて

- 1) ジャンプスタートの判定があった場合、ジャンプスタートにおける反則には、ライトスルーペナルティを科す。  
(3周回提示されてもピットインせず、ペナルティを実行しない場合、当該ライダーは失格となる。)  
※ 「RIDE THROUGH」の文字の下に車両ナンバーを付した黄色い一体型ボードをコントロールラインと8番ポストにて提示。  
**ジャンプスタートの定義: 赤のランプが消灯する前に、白線から体の一部(足)が離れたら、ジャンプスタートと判定します。**  
(正式なスタートは赤ランプの消灯となります。カウントダウンの数字はサービス表示です。)

## 11. 黒旗及びオレンジボール旗の使用について

- 1) フラッグタワーとバックストレッチ中央左側8番ポストの2箇所で開催される。(その他確認し易いポストでも掲示する場合がある)
- 2) オレンジボールは、他のライダーに危険を及ぼすような車両トラブルに見舞われているライダー(車両)に対し掲示される。指示されたライダーは、早急にコース上からグリーン上に退去しなければならない。(コースから離れた安全位置に停止の事)

## 12. ピット作業とサインエリア入場とライダー交代について、

**\*マシン1台に付き消火器一本(使用期限が有効なもの)を必ず持参すること。**

(内容量1.8kg以上の物が望ましいが、給油中に引火した場合の初期消火に対応できる容量であれば可)

**\*作業エリアには決められた者以外は入れない。尚管理に対しては各チームが責任の中で事故、怪我に注意すること。**

**\*サインエリアに入れる人数は1チーム2名までとする。入場2名分のリボンは事務局にて配布します。**

(ライダーもしくはピットクルーライセンス所持登録者)。ツナギを着ていてもリボンをつける事。

**\*合図等の確認の為、サインエリアへの移動は認める。但し、1名が短時間で行くこと。**

**\*ピット作業は必ずピットロードの進行方向右側の作業レーンで行うこと。(給油・ライダー交代等を含む全ての作業)**

**\*ピット作業中に同時に車両に触れる人数は4名(ライダー含む)までとする。ただし給油時の消火器を持つ者は数えない。**

**\*給油を行う際は、センタースタンド又はリヤスタンドをかけなければならない。サイドスタンドは不可。**

**\*ライダーが跨った状態での給油は安全を考慮し禁止とする。**

**\*給油を行う者は目を保護出来る用具を装着しなければならない。(ゴーグル・フルフェイスヘルメット等)**

**\*ライダー交代のみの場合、ピット作業をしない場合も必ず一旦エンジンを停止させること。交代後は、安全を十分確認しコースに復帰すること。**

ピットロードにおいてはピットインしてくる車両に優先権がある。

**\*ピット作業、サインエリアに入場する者は、踵(かかと)の保持されている履き物以外は不可とする。**

保持されていてもオフィシャルが危険と判断したものについては不可とする場合がある。

**\*給油時、プラスチック製タンク・オイルジョッキ・ポリ容器・漏斗(ジョーゴ)の使用は認めない。**

## 13. レースの中立化(フルコースコーション)について

レース中、状況に応じてセーフティーカー(SC)を介入させレースを一時非競技化し、スロー走行にて事故処理を行う場合がある。(手順については、2018 MFJ国内競技規則書 P109.レースの一時停止 を参照のこと)

## 14. レース中のレッカー救済について

- 1) 転倒・マシントラブル等の場合は自力でピットまで戻ってくる事が原則となる。
- 2) 自力で戻れない場合には、最寄のポストマーシャルの指示に従うこと。
- 3) 必要に応じて、オフィシャルによる救済処置をとる場合がある。救済場所は当日競技監督が提示説明する。
- 4) 救済を受けた車両は必ず一旦車検場へ搬送する。コース外からの自力輸送も含む。(レース終了後の回収車両も搬送先は同じ)
- 5) 救済を受けたチームは車検場にて5分間の車両保管が与えられる。保管解除後に自ピットにて修理点検をして、ピット周りで待機している車検員のチェック(再車検)を受けてからレース復帰となる。  
**※レッカー救済は、決勝レースチェッカー20分前以降は、行わない場合がある。**
- 6) リレークラスの救済措置後の扱いについてはブルテンー1を参照の事。

## 15. ピットロードの制限速度について

- 1) ピットロードの走行速度は、60km/h以下とする。
- 2) ピットロードを走行する場合はサインエリアへ移動する人、作業エリアで作業中の人には十分注意すること。自分のピットへは最小限の進路変更でピットインし、他の作業エリア内を横断しないようにすること。ピットアウトの際も同様に注意のこと。

## 16. レースの終了(周回数優先とする)

スタートから6時間経過後、総合トップライダーに対し、レース終了合図としてチェッカーフラッグが振られる。

同時に2コーナーよりトップライダーの前にセーフティーカーが入り、ホームストレートまで誘導し待機する。

順位は、周回数の多い順とし、同周回数の場合には先にゴールラインを通過したマシンが優先される。

## 17. レース終了後の再車検と車両保管(車両保管はホームストレート上で行う)

先導によりホームストレートまで戻ってきた全車両は、そのままオフィシャルの合図があるまでそこで待機する。

オフィシャルの合図が出るまでは、各チーム員はコースに入れない。合図後チーム員はコース上のライダーの所へ行くことができる。

入賞車両が告知された後、全車両その場で車両保管とし、全てのエントラントはそこから退出しなければならない。

暫定表彰式終了後、入賞車両に対しては、再度現車確認を行う。入賞車両は車検場に移動すること。尚、EXクラスに関してはインタークマニホール部分の口径確認を行う場合があるので、その場合メカニックは工具を持って車検場に同行すること。

他の車両も正式結果発表(保管解除アナウンス)までホームストレート上にて車両保管とする。

## 18. 医療施設の利用義務について

負傷した選手、またレース関係者はメディカルセンター内で診断を受けること。

診断記録がない場合、スポーツ安全保険が適用されない。

## 19. 賞典について

選手受付終了後に公示として示す。

表彰式は、ピットロードの仮表彰台にて行う。

## 20. 車両規則の確認事項

- 1) エアーダクトからの走行風によるラム圧は認められる。その他過給装置は禁止。
- 2) 部品の互換性について同一型式の物に限る。(イグニッションコイル等)Exmni-80・100・125クラスは除く
- 3) ゼッケンの色はツヤ消し色で基本的に自由。但し、蛍光色、金銀銅色は禁止。下地と反対色を使用する事。  
また、3ケタのゼッケンの場合は、見易いように大きめに作成する事。基本字体はFutura Heabyを基準とするゴシック体。

## 21. その他

本規則書・公式通知に記載されていない事項は2018MFJ競技規則及びその趣旨により判定する。

ピット内での火気の持込・使用は厳禁。使用済みタイヤ・粗大ごみは各自持ち帰ること。不法投棄は厳禁。

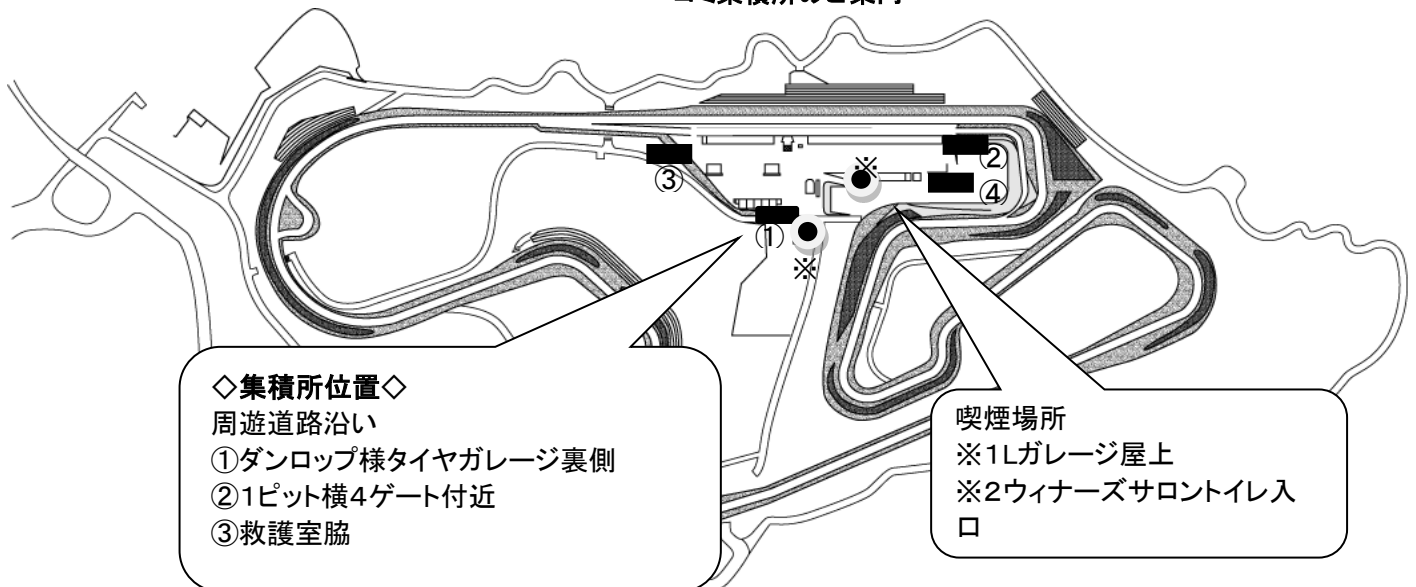
## 22. 競技参加者の遵守事項

- ①ルールに従い全ての行動に責任を持つこと。 ②スポーツマンとしての態度を保つこと。
- ③競技者は興奮剤、アルコールによって精神状態をつくらってはならない。

## 23. 事務局より各種注意事項とご協力依頼

- ・スタート前チェックは、レースタイムスケジュールが遅れても当初予定時間に受けてください。
- ・パドック内は基本的に火気厳禁となっております。PITエリアでの喫煙やバーベキュー等は禁止です。喫煙は指定場所のみでお願いいたします。
- ・土曜日の夜間は、パドック内での宿泊を可能とします。宿泊する場合は夕方16:30までにター1F事務所に備え付けの宿泊者名簿に宿泊者全員の氏名を記入すること。
- ・夜間のパドック(SUGO)への出入りは、22:00までとなります。それ以降は入退場できません。  
夜間宿泊中、不注意による事故やトラブルが発生した場合には、パドック宿泊制度を終了します。
- ・事故防止の為パドック内のスクーター、ミニバイク等走行はご遠慮下さい。乗用の場合にはヘルメット着用。
- ・使用済みタイヤは、タイヤサービスに持っていくようにするか持ち帰るようにして下さい。放置した場合は、処分料を請求します。
- ・入場につきまして、土、日曜日は第2ゲートからの入園となります。
- ・参加賞に付きまして、都合により割愛させて頂いております。予めご了承ください。

### ゴミ集積所のご案内



- ・ピット内にゴミ箱はありませんので、各自ゴミ袋を持参頂くかター1Fにて配布しております。
- ・各自のピット、使用エリアにて出ましたゴミは、最終的にゴミ集積所に集めて頂きます様、ご協力をお願いします。
- ・ゴミの分別にも、ご協力をお願いします。
- ・パドック内車両移動の安全管理の徹底(子供・自転車及びバイク等に十分注意すること)
- ・金品等の盗難にご注意ください。車から離れる際は必ず施錠下さい。

大会事務局